

独自技術で工業化された合成染料

登録番号	第 00216 号		
登録年月日	平成28年9月13日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	【日本初の合成インジゴ関連資料】 (1) インジゴ樽 (2) インジゴ缶		
所在地	千葉県茂原市 三井化学株式会社		
所有者 (管理者)	三井化学株式会社		
製作者(社)	(1) 株式会社桐原容器製作所 (2) 不明		
製作年	(1) 1933年 (2) 1935～1941年頃		
初出年	(1) 1933年 (2) 1935年		
選定理由	日本で初めて生産された合成インジゴに関する資料である。最も古い染料のひとつである天然インジゴは、欧州では輸入に頼る貴重品であったが、合成化に成功することで合成インジゴが取って代わった。日本では、アニリン／モノクロル酢酸によるフェニルグリシン法という、1897年に工業化に成功したドイツとは異なる技術で、三井鉱山(株)三池染料工業所によって工業化され、1933(昭和8)年に年間1,000トンの生産量に達した。製造したインジゴは(1)の樽に充填して保管・販売され、生産量が拡大すると(2)の缶に充填して輸出された。インジゴそのものが残されていない中で、日本における染料開発の歴史を物語る資料として貴重である。		
登録基準	ーーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの)		

公開・非公開	非公開		
写真	(1)  (2) 		
その他参考となるべき事項			